

## < 報告事項 >

### 財務局及び管内金融機関の金融経済教育の取り組み

中国財務局長 其田修一

広島県内の特殊詐欺による被害額（26年1～3月）は、前年に比べ6.4%増加。中でも金融商品等取引名目での被害額は46.7%の増加。1件当たり平均被害額も1,366.8万円と多額化。

中国財務局では、悪質な投資被害の防止のため、高齢者を中心に注意喚起の広報活動を強化し、老人大学等への出前講座を積極的に実施。また、街頭で注意喚起のリーフレットを配布するなど金融トラブル防止に向けたキャンペーン活動も展開。

金融リテラシー向上に向けた取り組みについては、金融経済教育にかかるシンポジウムを隔年で開催しており、直近では26年2月に「金融リテラシーを身に付けるためのシンポジウム」を開催し、投資詐欺被害にあわないための注意点等について講演を実施。この他、高齢者、大学生などを対象に、「金融犯罪被害防止」、「多重債務問題」をテーマとした説明会や講義を実施。また、公共施設を活用し、「多重債務の防止」、「悪質な投資勧誘被害防止」、「振り込め詐欺被害防止」などのパネル展を開催。

管内金融機関においても、小学生向けのマネースクール開催、高校生経済クイズ選手権開催、大学生を対象とした金融知力講座開催、シニア層への各種セミナー開催など、それぞれの金融機関の創意工夫の下、各年齢層に対する金融経済教育の取り組みが進展。

今後も地域の実態も踏まえた効果的な手法で金融経済教育への取り組みを続けていくことが必要。特に、金融商品を使った金融犯罪が巧妙化していることから、犯罪に巻き込まれないための金融経済教育に、より一層注力することが必要。